
歩く

怒満坊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歩く

【コード】

N8930I

【作者名】

怒満坊

【あらすじ】

幻想詩集『第二編』。

歩く

人は歩く

とぼとぼ歩く

ちよこちよこ歩く

よろよろ歩く

めそめそ

ふらふら

えんえん歩く

歩く あるく アルク

どこまで歩けばいいの？

人は歩く

ぐんぐん

もんもん

しゃんしゃん

どんどん

アルイテ あるいて あるく

歩いて 歩いて

どこまで歩けばいいの？

人は歩く

歩くは 遠く せわしなく

どこか 寂しい

歩くは 果てしなく つらく 遠い

それでも

人は歩く どこまでも 歩く

歩く疲れたら いっそ 休んでごらん
すべて ほっぽりだして

座る 寝転ぶ 草っぱらに 道草

青い空 みどりの風 耳を澄ませば 鳥の声 春の声 人の声
空っぽの心に やがて 訪れる

新しい力の源が 君の空っぽの心に ひたひたと 訪れる 朝光
差す

それまで 眠ろう 人の仔

雑踏 霞む道 未知の目的地

あの山の向こう

未だ知らぬ人びとの生活が
あんなにも 夕陽を燃え立たせているのかもしれない
君の知らない人々の喜びが

あんなにも 朝日を燃え立たせているのかもしれない

歩く

その道にまどう

しかし その道は 君しか歩めぬ人の道
この道が 君に歩くことを 欲している

歩けと欲する

君は応えよう その小さな道の 大いなる意思に

歩く

歩くは遠く せわしなく 心細い
だけど

歩くは面白く 楽しく 明るい

松の木が 見えてきた
誰かが 待っている 二人で歩く 裏通り 明かりの町

歩く

歩く

歩く

人は歩く

歩くは 遠く つらい

けれど 美しい

勇ましく 高く そう

歩くは美しい

人は歩く

美しく 歩く 人の道

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8930i/>

歩く

2011年10月9日17時05分発行